

佐世保市立潮見小学校

佐世保市須田尾町19-44

校長 惣田 正宏

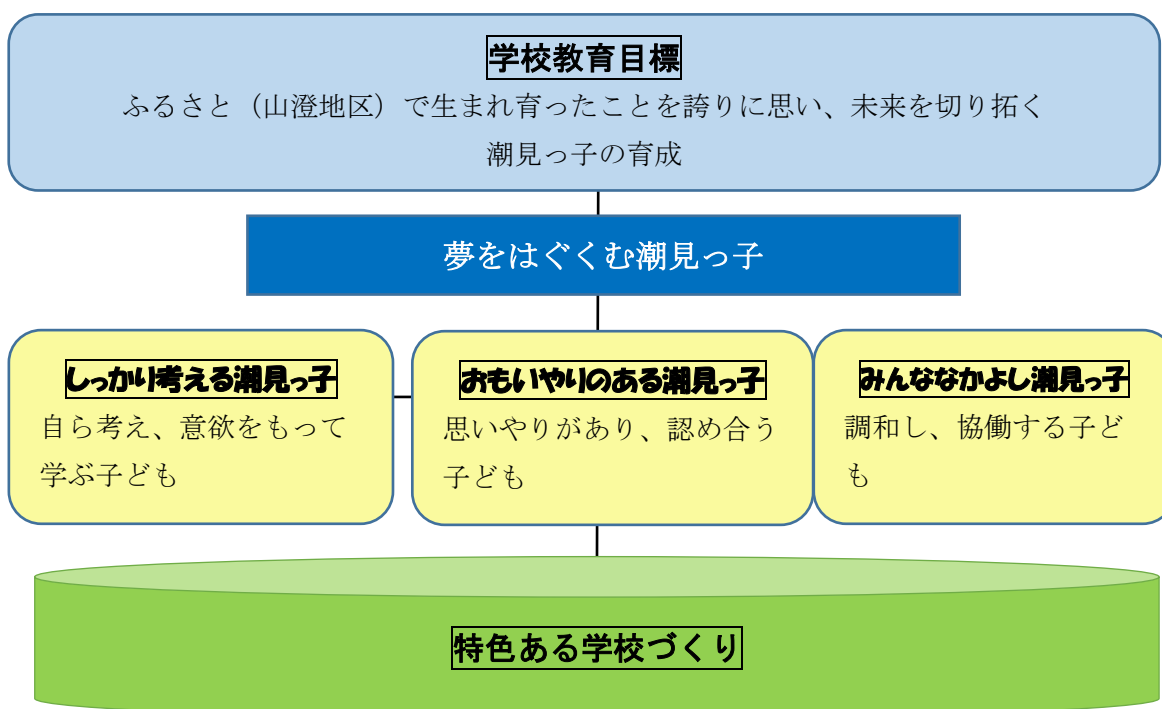
児童数 152名 学級数 8学級

(令和4年5月1日現在)



1 目的

学校教育目標「ふるさと（山澄地区）で生まれ育ったことを誇りに思い、未来を切り拓く潮見っ子の育成」に基づいた、本校のめざす児童像「**しっかり考え おもいやりのある みんななかよし 潮見っ子**」の具現化のために特色ある学校づくりを推進します。



令和4年度は、創立90周年を記念して児童が作成した「夢をはぐくむ潮見っ子」をテーマに、学校教育目標を具現化する「しっかり考える おもいやりのある みんななかよし」の3つの視点で、様々な学習・体験活動を計画・実践して、特色ある学校づくりを行いました。

2 実践内容

(1) しっかり考える潮見っ子



<児童用端末の活用>



<朝のスキルタイム>



<標準学力テストの活用>

[学力向上に向けた取り組み]

校内研修では、児童用端末を活用した算数の授業研究を行いました。

スキルタイムを計算チャレンジとして全校一斉に取り組みました。TTを組むことで、全職員で共通理解・共通実践ができました。

12月に実施した標準学力テスト(算数)では、全学年で標準スコアがアップしました。

標準学力テストの成果と課題を把握し、補充問題を活用して学年のまとめをしました。



<子ども新聞を教室へ4～6年>

[読書活動の推進]

読み聞かせボランティアや学校司書、委員会活動で連携し、読書習慣の形成を目指しました。

また子ども新聞を活用し、時事への関心を高め、各教科等において図書を利用した調べ活動が促進されるよう工夫をしました。



<読み聞かせボランティア>

(2) おもいやりのある潮見っ子

わくわく どきどき
しんみり 感動体験

「おもいやりのある心」は、他者への理解を深め、多様性を認めることが大切である。そこで様々な感動体験を設定しました。



<児童劇鑑賞>

座・高円寺「フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き」食べられる豚の気持ちになって考え、自分たちは命をいただいているのだとの思いを強くもちました。



<落語会の開催>

佐世保市出身の三遊亭らっ好さん
「潮見小寄席」話芸にみんな大笑い。表現力のすばらしさを実感しました。



<平和案内人による説明>

今年は、6年生の修学旅行、5年生の見学旅行で平和案内人の方に説明を受けながらの原爆資料館見学をしました。平和学習への理解が深まり、命の大切さについて考えました。



<演劇ワークショップの開催>

演劇のワークショップでは、劇団の人から指導を受けながら、ミニ劇を演じました。



[福祉についての学び]

4年生は、市社会福祉協議会に協力していただき、障がい者の方との交流、ユニバーサルデザインについての学習等を行いました。障がいのあるなしに関わらず、だれもが住みやすく、暮らしやすい社会をつくるために必要なことは何かについて学びました。

<ユニバーサルデザインとは？>

(3) みんななかよし潮見っ子

つながり ふれあい 笑顔あふれる 協働体験

学校一徳運動の「きもちのよいあいさつ」推進のため「のぼり旗」を作成し、学校及び地域で掲げています。代表委員会で話し合い、縦割り班であいさつ運動を実施して、校内放送でもがんばりを紹介し合うことで意欲が高まりました。



<あいさつ運動>



<あいさつのぼり旗>



<春の国道植栽>

[潮見っ子フェスティバル]

今年も代表委員会でコロナウィルス感染症対策をして「潮見っ子フェスティバル」をしようと話し合い、実施しました。

お客さんが喜んでくれる工夫を学級の仲間と話し合い協力し合ってやり遂げました。交流している園児たちも楽しんでくれました。



<潮見っ子フェスティバル アスレチック>

[国道植栽]

感染症対策を行いながら、国道植栽を行いました。この活動は、国土交通省、地域ボランティア、保護者、学校が連携をして平成17年から毎年行っているものです。地域の方と一緒に佐世保の玄関口にきれいな花を咲かせます。

<潮見っ子フェスティバル 人間まちがいさがし>

